

TNS 方式

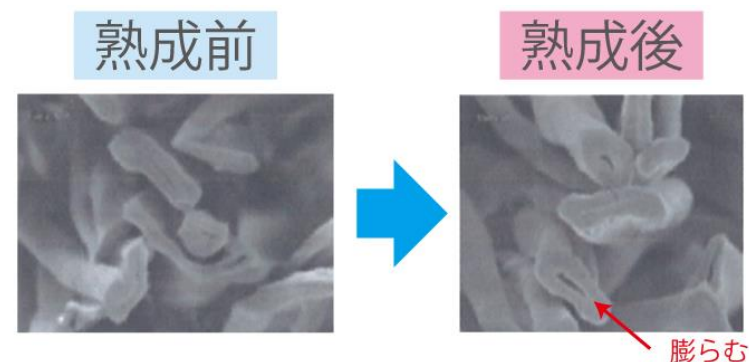
TNS とは？

粗紡工程を省略し「熟成室」で綿を熟成させる、世界で唯一の紡績方法。

熟成工程により繊維を摘みたての状態まで戻し、かつ通常3本のローラーで繊維を引き伸ばす所を5本のローラーを使うことにより、スライバー（繊維束）から一気に糸をひくことができ、上質な糸に仕上がります。

熟成綿とは？

その名の通り、温湿度を管理した部屋で綿を一定期間寝かせます。湿度を高く設定しているため、綿繊維が水分を多く含み、摘みたての状態に戻ります。

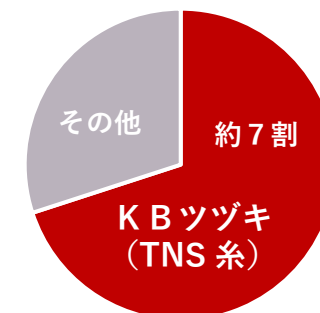


今治タオル向け綿糸出荷量 No.1[※]

日本一のタオル産地である愛媛県今治地区で使われる綿糸のうち、約7割を当社の糸（主に TNS 糸）が占めています。

今治では、今治タオル工業組合が独自に定めた品質基準に合格したタオルのみに付する商標「今治タオルブランド」があり、「優れた吸水性と高い安全性」を有することを最大の特徴としています。

※2020年今治タオル工業組合「今治地区綿糸受渡数量」より計算



【今治地区向け綿糸出荷量】

MFTS 方式

MFTS とは？

Multi Fleece Twist Spinning system の略。

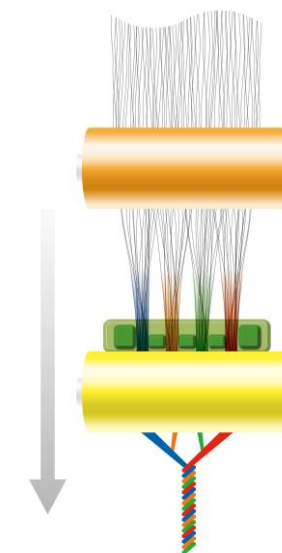
従来の TNS 方式を更に進化させ、撚りをかける直前に繊維を分割（2分割・4分割）してから撚り、糸にする紡績方法。

仕組みと特徴

- ① 撚りをかける直前に繊維を分割（2・4分割）する。
- ② 撚り方が従来と異なりクロスツイストとなる為、繊維が複雑に絡み合う。



糸ムラ・毛羽落ちが少ない！
幅広い撚り[※]の生産が可能に！



【4分割のイメージ図】

※今まで超長綿を使用しないと難しかった甘撚りから強撚まで、幅広い撚り回数が可能となりました。

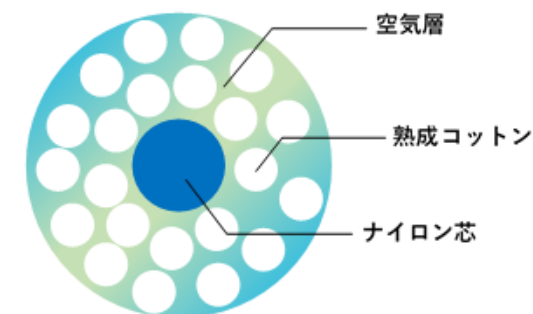
ラブリーゼ

ラブリーゼとは？

綿糸の差別化として、「綿糸は重い」という欠点に挑戦し、かさ高軽量感、伸縮性、保湿性、速乾性のあるカジュアル用途の糸として開発。

仕組みと特徴

- ① じっくりと熟成させた綿を特殊な紡績方法でナイロンの芯糸にふんわりと、やさしくカバー。
- ② 空気層をたっぷり含む。



【糸の構造イメージ図】

かさ高で軽く、 独特でソフトな風合いと ふくらみが
ある新素材！

※この技術の基本特許は(株)I.S.T社が有しており、当社はその特許実施の権利を受け、独自のTNS方式とMFTS方式技術と融合させ実現した綿糸です。